

令和7年度 全国学力・学習状況調査 新川中央小学校の結果

	本校の概要【領域】	今回の調査における課題	改善の方向
国語	◇言葉の特徴や使い方に関する事項 ・下回っている。	▶学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。	▶同じ部分をもつ漢字に注意し、漢字のもつ意味を考えて使う学習活動の充実。
	◇情報の扱い方に関する事項 ・下回っている。	▶情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。	▶情報を読み取ったり、図などを利用して関係を表したりするなど、情報を整理する学習活動の充実。
	◇我が国の言語文化に関する事項 ・下回っている。	▶日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに関与することに気付くこと。	▶日常的に本を手に取りやすい環境を整備し、興味・関心や必要感をもって取り組む読書活動の充実。
	◇話すこと・聞くこと ・下回っている。	▶話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。	▶聞き手がもつ興味・関心や情報量を予想して資料の優先順位等を検討したり、聞き手の反応に応じて、自分の考えが伝わるように表現を工夫したりする学習活動の充実。
	◇書くこと ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	▶引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	▶書いた文章を他者と読み合い、事実と自分の考えとを区別して書いているか、取り上げた事実が適切であるかを確認する学習活動の充実。
	◇読むこと ・下回っている。	▶複数の文章を読んで理解したことを関連付けながら、自分の考えをまとめること。	▶登場人物の行動や会話、様子等を表す複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方などを考えたり、表現が読み手に与える効果について考えたりする学習活動の充実。 ▶物語を読んで着目したところやその理由を他者と交流し、読むための観点をそれぞれが明確にする学習活動の充実。
算数	◇数と計算 ・下回っている。	▶除数が小数である場合の除法の計算をすることができること。	▶除数が小数である場合の除法の計算の仕方を考える活動の充実。
	◇図形 ・下回っている。	▶基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できること。	▶複雑な図形を基本図形に分割して面積の求め方を考えるなど、既習を活用して問題を解決する活動の充実。
	◇測定 ・下回っている。	▶伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できること。	▶伴って変わる二つの数量の関係を読み取り、グラフ等に表し、式や言葉を用いて表す学習活動の充実。
	◇変化と関係 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	▶速さの意味について理解していること。	▶道のりと時間の関係に着目し、求めた速さの妥当性を検討する活動の充実。
	◇データの活用 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	▶円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができること。	▶円グラフの割合の読み取りを説明し合う活動の充実。

	本校の概要【領域】	今回の調査における課題	改善の方向
理 科	◇「エネルギー」を柱とする領域 ・下回っている。	➢電気の回路の作り方について、実験の方法を発想し、表現する。	➢電磁石のコイルの巻き数と強さの関係など、電流がつくる磁力の理解を深める。
	◇「粒子」を柱とする領域 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	➢水が氷に変わる温度を根拠に、海氷の面積の増減の理由を予想し、表現する。	➢「水は温まると体積が増える」という知識を根拠として活用し、身の回りの現象（海面水位の上昇など）を予想する学習活動に取り組む。
	◇「生命」を柱とする領域 ・下回っている。	➢顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能を身に付ける。	➢仕組みの理解や実際に操作する機会をつくることで、顕微鏡の使い方についての理解を深める。
	◇「地球」を柱とする領域 ・下回っている	➢氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について概念的に理解すること。	➢水の蒸発に関する概念の理解を深め、地球上で起きていることを具体的にイメージできるような学習活動に取り組む。

【全国平均より肯定的な回答が上回っている項目】

《学習に関すること》

- ◇国語・理科の勉強が得意
- ◇国語・理科の授業の内容がよく分かる
- ⇒言語的な内容、科学的な内容に興味をもつ児童が多く、自信をもって学習に取り組むことができていることが伺えます。
- ◇課題解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいた
- ◇話し合いを通じて自分の考えを深めたり気付いたりできる
- ⇒課題解決に向けて主体的に取り組み、対話を通して協働的に考え、深める力がついてきているようになってきていることが伺えます。

【全国平均より肯定的な回答が下回っている項目】

《学習に関すること》

- ◇算数の問題の解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考える
- ◇小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしている
- ◇算数で学習したことを、普段の生活の中で活用できている
- ⇒算数が実生活で役立つことを実感したり、既習事項から粘り強く解決方法を探ることを楽しめるようになったりすることが、これからの課題と見ることが出来ます。

《生活に関すること》

- ◇毎日、同じくらいの時刻に起きている
- ◇毎日、同じくらいの時刻に寝ている
- ⇒起床・就寝といった規則正しい生活のリズムが全国平均より低くなっています。
- ◇人が困っているときは、進んで助けている
- ◇友達の考えを大切にして、協力して課題解決に取り組んでいる
- ⇒他者意識をもち、集団で協力して生活することの良さを味わうことを通して、仲間との認め合い、支え合いを大切にしようとする気持ちが高まっていくことを願っています。

【全国平均より数値的に上回っている項目】

- ◇友達関係に満足している
- ◇困りごとがある時に、先生や大人に相談できる
- ⇒学校における人間関係において、おおむね良好に過ごすことができている児童が多いようです。引き続き、学校が子どもたちにとって「自分が大切にされている」と思える場になるよう努めていきます。

【全国の平均正答率と比較して、以下の規準でお伝えしています】

- ・ +3. 1ポイント以上 … 「上回っている」
- ・ +3. 0ポイントの範囲内で全国平均を上回っている … 「ほぼ同程度であるが、やや上回る」
- ・ 全国平均と同じ … 「ほぼ同程度」
- ・ -3. 0ポイントの範囲内で全国平均を下回っている … 「ほぼ同程度であるが、やや下回る」
- ・ -3. 1ポイント以下 … 「全国平均を下回っている」